

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 11-005

PDCA	事務事業名	地産地消費及事業	部課等名	市民経済部 経済課 農務担当	担当	服部	
					内線等	316	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 2. 農業 単位施策： (3) 市民の農業に対する理解の向上 個別施策： ③食育の推進					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	児童体験農業や、第2次食育推進計画に基づき、食の安全安心確保のため、給食や産業まつりを始めとしたイベントにおいて地産地消を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	児童体験農業、市民農園、農業施策パンフレット配布					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	30年度	元年度	2年度	単位	
		①農業講座の開催	2	1	2	回	
		②児童体験農業の開催数	7	7	7	回	
		③市民農園面積	13,833	13,833	13,833	m ²	
		事業費	—	1,920	1,666	千円	
		人件費	—	3,614	2,397	千円	
		総事業費	—	5,534	4,063	千円	
		活動単位当たりのコスト	30年度	元年度	2年度	単位	
	②児童体験農業1校当たりのコスト	71	71	71	千円		
	③市民農園1箇所当たりのコスト	—	187	187	千円		
	成 果	成果指標	30年度	元年度	2年度	単位	
		①農業講座受講者数	実績値	30	12	24	人
		目標値	70	50	30		
			実績値				
		目標値					
		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	B					
		農業を始めたい方や関心がある方などを対象に、農業講座の開催、市民農園の管理を行った。また、農業の重要性や必要性を感じてもらうため、地元農家と協力し、小学校3校及び保育園4園を対象とした稲作体験・さつまいも作り体験を実施した。知多牛については令和元年度に作成したパンフレットをもとに店舗情報を更新し、1万部増刷したものを市内外に広く配布することで、さらなるPRに努めた。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 市民農園の管理・運用方法の見直しを図る。 地域の農業関係者に協力してもらい、子どもたちに手作業で農作業を体験してもらうことで、児童に地産地消に対する理解を深めてもらえるように努める。 知多牛パンフレットを活用し、地場産業である知多牛のPRに努める。				
令和3年度の目標		成果指標			目標値	単位	
		児童体験農業の開催数			7	回	